

第35回

うつのみやこども賞だより

平成30年度 7回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『龍にたずねよ』

みなと堇／著 (講談社)

～読んだ本の感想よ～



- 自分の命をなくしてでも守ろうとしていてすごいなと思いました。最後はハッピーエンドでスッキリと読めてよかったです。
- ちょうど戦国時代で、私の好きな時代だったし、八姫の気持ちがありありと描かれていて、とてもおもしろかったです。
- 八姫がゴンザといっしょに戦をしに行く所や、八姫のおてんばぶりを見て、八姫は私ににていると思いました。
- 八姫とゴンザがむかってくる敵をたおすところははく力があってよかったです。まだ歴史を習っていない私でもよくわかりました。
- 小兵太の石を投げる戦法が、本当の戦に役立つなんてすごいなと思った。
- 人質になった八姫の目線がかかれています、とても面白かったです。

うつのみやとじょかん
Utsunomiya city library

『秘密基地のつくりかた教えます』

那須正幹／著 (ポプラ社)

- 私の秘密基地をつくってみたくになりました。最初はネコをきっかけに仲良くなった二人が、夏休みに秘密基地をつくるとまるといふ、ありえそうでありえない展開が面白かった。
- この本の長所はスムーズに読める。前回のやつよりは楽しめて楽に読めた。
- 夏休みに秘密基地をつくって、友達と泊まるという話で、自然の中で友達と泊まったり、遊んだり、楽しさが伝わってきた。
- 子供たちで秘密基地を作るなんてすごい。
- 省吾と保のひみつのキャンプは最初、パイプの中だったけど、どんどん進化してついに山の中の小屋を建て、その中でキャンプをするところが一番おもしろかったです。

『ぼくのわがまま宣言！』 今井恭子／著 (PHP研究所)

- ママと翔の会話に感動しました。私も翔みたいに毎日大自然の中でくらしみたいです。
- 親のわがままをつらぬいて自分の意思を通す主人公に感動した。
- しょうが、父や母とはなれていなかでおばあちゃんと暮らすことになった所がドキドキしました。いなかの友だちがくれたイチゴを、私も食べてみたくなりました。
- 自分自身のやりたいことを宣言していて、少し感動してしまった。こういう成長物語もいいなと思った。

『ローズさん』

澤井美穂／著 (文学の森)

- 都市伝説と聞き、最初はこわい話かと思ったけど、最後には幸志郎がゆうれいだったことをしり、惟が感動する所もある。
- 他人にたよってばかりの自分をだめだと思っていた惟が、音楽室で出会った幸志郎とピアノをひき合うのがよかった。
- ローズさんの正体を探ると共に、主人公惟が成長していく姿もかっこよかったです。こんな感じの本は初めてで新鮮でした。
- テーマが「かいだん」で、怖い話の本ではなく、それが物語に取り入れられている、というのがざんしんですごいと思った。
- ローズさんの不こうになっても「風がふいたの。吹いた風にまかせろわ。」と言って前向きにかんがえているのを見て、私もそうなりたかったです。

平成30年12月2日